

# 仲戸川裁判長の暴挙に 怒りの緊急弾劾集会

7・5  
成田市天神峰

## 証人隠しと実地検証却下で審理打ち切り！

6月25日、地裁民事第5部・仲戸川裁判長は、怒りの声が渦巻く法廷で、ついに実質審理の打ち切りを強行しました。最重要証人への反対尋問を認めず、証拠建物の実地検証を却下して、どうして判決が書けるのか！ 7月5日、成田空港敷地内にある共有地で緊急集会が開かれ、350人が仲戸川裁判長に怒りの声を上げました。

●これで判決が書けるはずがない！

いったいこんなにひどい訴訟指揮があるのでしようか。裁判官忌避のさなかに欠席裁判を強行したり、決定した証人を被告不在の法廷で勝手に取り消したり、何回もピラで抗議し撤回させたところ今度は尋問時間を不当に制限……、さらに強く抗議したら全面撤回です。

訴訟指揮の暴走と迷走の繰り返し！これが千葉地裁民事第5部の法廷です。

●これで判決が書けるはずがない！  
あげくの果てに、仲戸川裁判長は最重要証人に対する反対尋問の機会を私たちに与えず、肝心の建物の実地検証を却下して、審理の打ち切りを強行したのです。

裁判所近くに機動隊を待機させ、法廷の裏には千葉県警の公安刑事を配置して！！

●「仮執行宣言」で破壊のたくらみ

まるで「始めに結論ありき」の国策裁判です。私たちの立証活動などはお構いなし、「へ」の字に曲がった成田空港の欠陥誘導路を直線にするためなら、なんでもありの裁判です。司法の独立と公平性はどこにあるのか！ 絶対的に認めてはなりません。

この裁判長なら「仮執行宣言」(注)付きの極反動判決も下しかねません。私たちは奪われた権利の回復を求めて徹底的に闘います。仲戸川裁判長徹底弾劾！ 重要証人の再喚問と実地検証を要求します。(7月8日)

(注) 控訴審、上告審の判決を待たず、一審で建物の破壊を認める不当判決のこと



### 仲戸川裁判長徹底弾劾！

現闘本部の破壊を許さない

空港敷地内の共有地に集まって抗議の声を上げる350人の労働者・農民・学生(7月5日 成田市天神峰)

#### 【解説】

天神峰現闘本部裁判とは

この裁判は、成田空港の欠陥のひとつである「へ」の字に曲がった誘導路をめぐる事件です。建設予定地の建物を撤去しようとして、2004年3月に空港会社が所有者の反対同盟を相手に起こしました。■最大争点は、地上権(反対同盟が土地を使用する正当な権利)の成否です。

これを立証するために 登記された木造建物の存在を確認する実地検証、旧地主の念書や地代支払いの事実を明らかにする公正な証人調べが必要です。

ところが、仲戸川裁判長は被告・原告双方が申請する実地検証を拒否、重要証人の尋問にも偽証をゆるす不当な指揮を強行したため、私たちは奪われた権利の回復を求めて闘っています。